

23 日 獣 発 第 355 号
平成 24 年 3 月 16 日

地方獣医師会会長 各位

社団法人 日本獣医師会
会長 山根 義久
(公印及び契印の押印は省略)

ロシア極東地方における口蹄疫の発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

このことについて、平成 24 年 3 月 9 日付け 23 消安第 6174 号をもって、農林水産省消費・安全局動物衛生課長から別添写しのとおり通知があったので、お知らせします。

このたびの通知の内容は、カザフスタンから中国、ロシア極東地方に至る広範な地域で PanAsia トポタイプの口蹄疫ウイルスが広がっていることが危惧され、また依然として近縁諸国では SEA トポタイプの発生も確認され、本病ウイルスの我が国への侵入が懸念されていることから、本病ウイルスの農場への侵入を未然に防ぐため、平成 24 年 3 月 2 日付け 23 消安第 6020 号農林水産省消費安全局長通知「口蹄疫に関する防疫対策の強化について」(平成 24 年 3 月 15 日付け 23 日獣発第 350 号をもって通知済み) の記の 1 から 4 までの事項について万全を期するとともに近隣諸国の口蹄疫の発生状況を更新したので、記の 5 に基づき、本通知の内容を確実かつ迅速に畜産関係者等に周知されたい旨、各都道府県畜産主務部長宛てに通知されたので、円滑な防疫対策の実施への協力を願いたいとするものです。

なお、今後も海外における口蹄疫等家畜伝染病の発生状況等の必要な情報は、農林水産省ホームページ等を通じて積極的に公表するので活用していただきたい旨、連絡を受けております。

<農林水産省ホームページ：口蹄疫に関する情報>

URL:http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/katiku_yobo/k_fmd/index.html

<参考：OIE ホームページ>

URL:http://web.oie.int/wahis/public.php?page=disease_status_map&WAHIDPHPSESSID=e898489703716cef784208fd399f64

(病名で口蹄疫：foot and mouth disease を選択。血清型、発生時期などを選択すると、地図上にその血清型・時期の発生国が表示されます)

本件内容の問合せ先 日本獣医師会事業担当 笹川 TEL 03-3475-1601
--



23消安第6174号
平成24年3月9日

社団法人 日本獣医師会会長 殿

農林水産省消費・安全局動物衛生課長

ロシア極東地方における口蹄疫の発生に伴う畜産関係者等への指導の徹底について

このことについて、別添のとおり各都道府県畜産主務部長宛て通知しましたので、御了知の上、円滑な防疫対策の実施につき御協力方お願いいたします。



【OIE情報】 ロシアにおける口蹄疫（O型）の発生について

2012年3月7日

動物衛生課

出典：OIEホームページ

http://web.oie.int/wahis/public.php?page=single_report&pop=1&reportid=11712

ロシアにおける口蹄疫（O型）の発生について、OIEへ報告がありましたのでお知らせいたします。

【概要】

- ・発生数：1件（初回報告）
- ・発生日：2012年2月26日
- ・確定日：2012年3月1日
- ・OIEへの報告日：2012年3月6日
- ・血清型：O型



【発生地】

ロシア プリモルスキー・クライ ウサチェフカ村の農場

※ウサチェフカ村はロシアと中国の国境から45km付近に位置。

プリモルスキー地区は、牛および小反芻動物（羊または山羊）に口蹄疫ワクチンを毎年接種している緩衝地帯の一部。

【発生状況】

【動物種】	【飼育頭数】	【症例数】	【死亡数】	【淘汰数】	【と畜数】
牛	240	7	1	10	0
羊または山羊	47	22	0	24	0
豚	10	0	0	0	0

【診断】

- ・遺伝子シーケンス、ELISA(サンドイッチ法)、nested RT-PCR：陽性（牛）

※系統解析の結果、本発生の分離株は血清型O型（PanAsia株）であり、2011年に中国貴州省及びカザフスタン東部で発生した口蹄疫ウイルスに遺伝的に近縁であった。

【感染源】

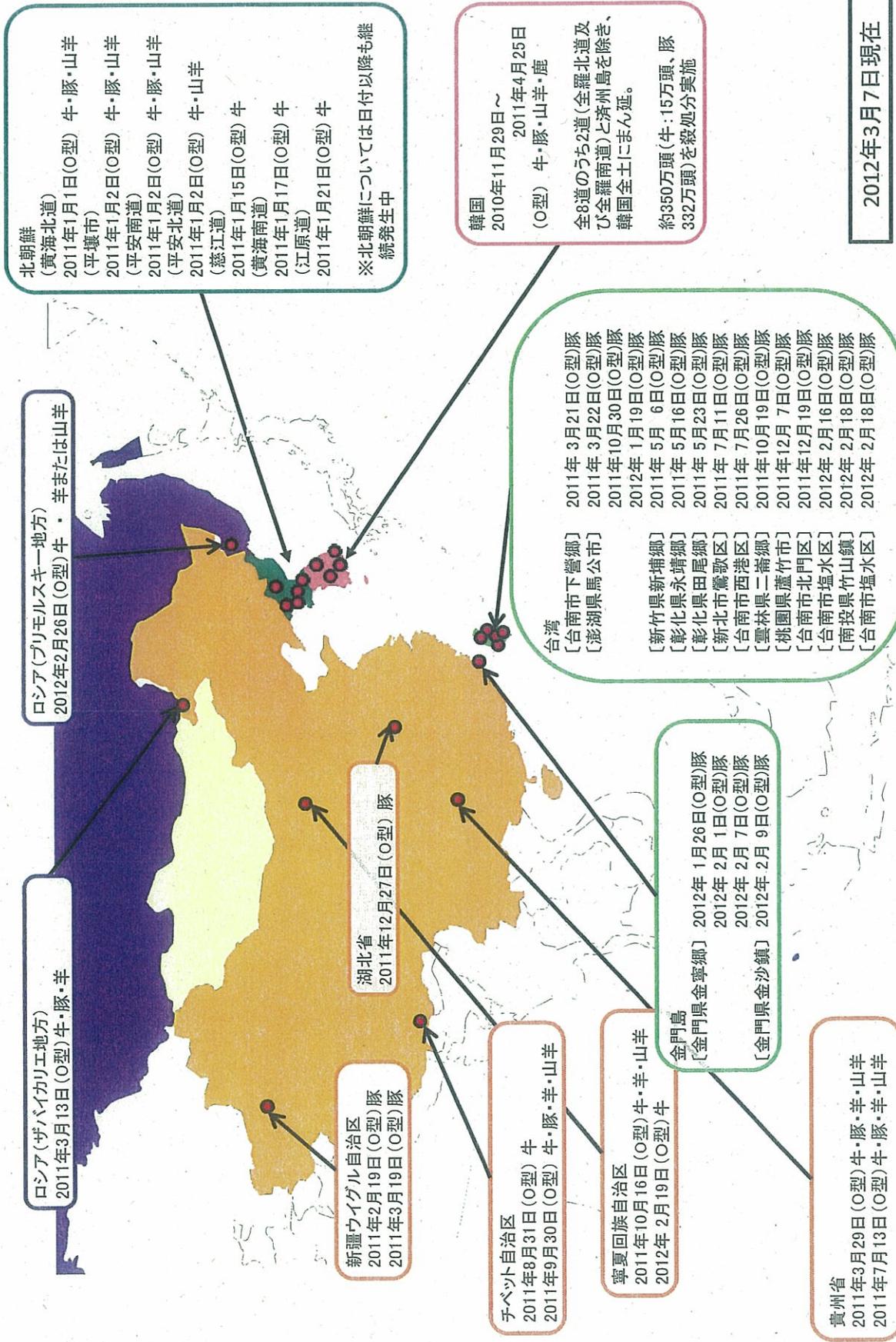
不明または調査中

【対応】

発生抑制およびまん延防止に必要な措置は実施済み。

- ・隔離、スクリーニング、施設等の消毒、患畜を治療対象としない
ワクチン接種未実施→今後、ワクチン接種実施予定

中国、香港、台湾、韓国、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況（2011年1月以降の発生）

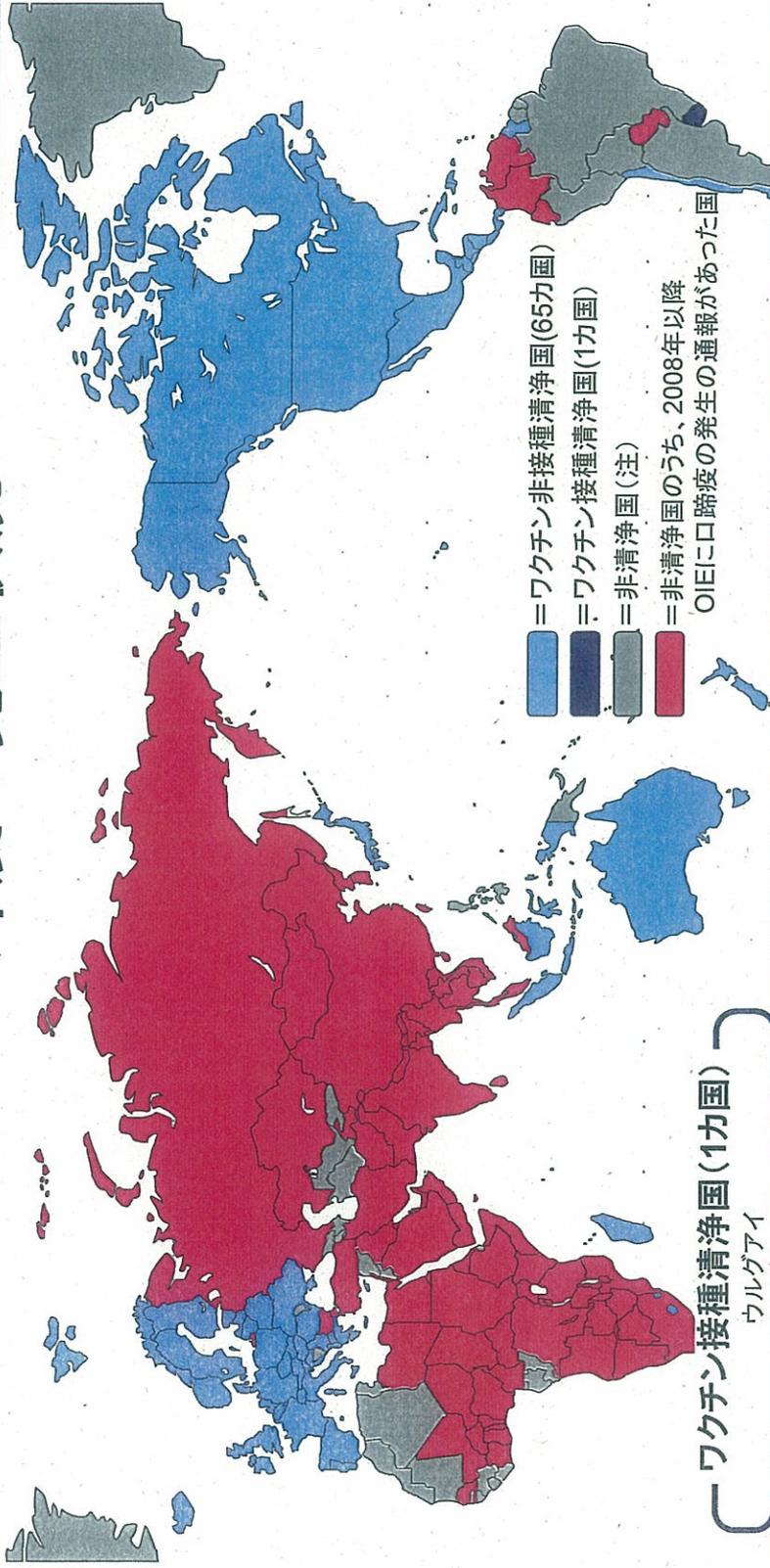


※更新点: ロシアにおける口蹄疫(O型)の発生(2012年2月26日)
 北朝鮮の発生状況を行政区分毎に修正、韓国の直近の発生状況について整理

※出典: OIEほか
 ※日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)

口蹄疫の発生状況

2011年11月25現在



- = ワクチン非接種清浄国(65カ国)
- = ワクチン接種清浄国(1カ国)
- = 非清浄国(注)
- = 非清浄国のうち、2008年以降 OIEに口蹄疫の発生の通報があった国

ワクチン接種清浄国(1カ国)

ウルグアイ

ワクチン非接種清浄国(65カ国)

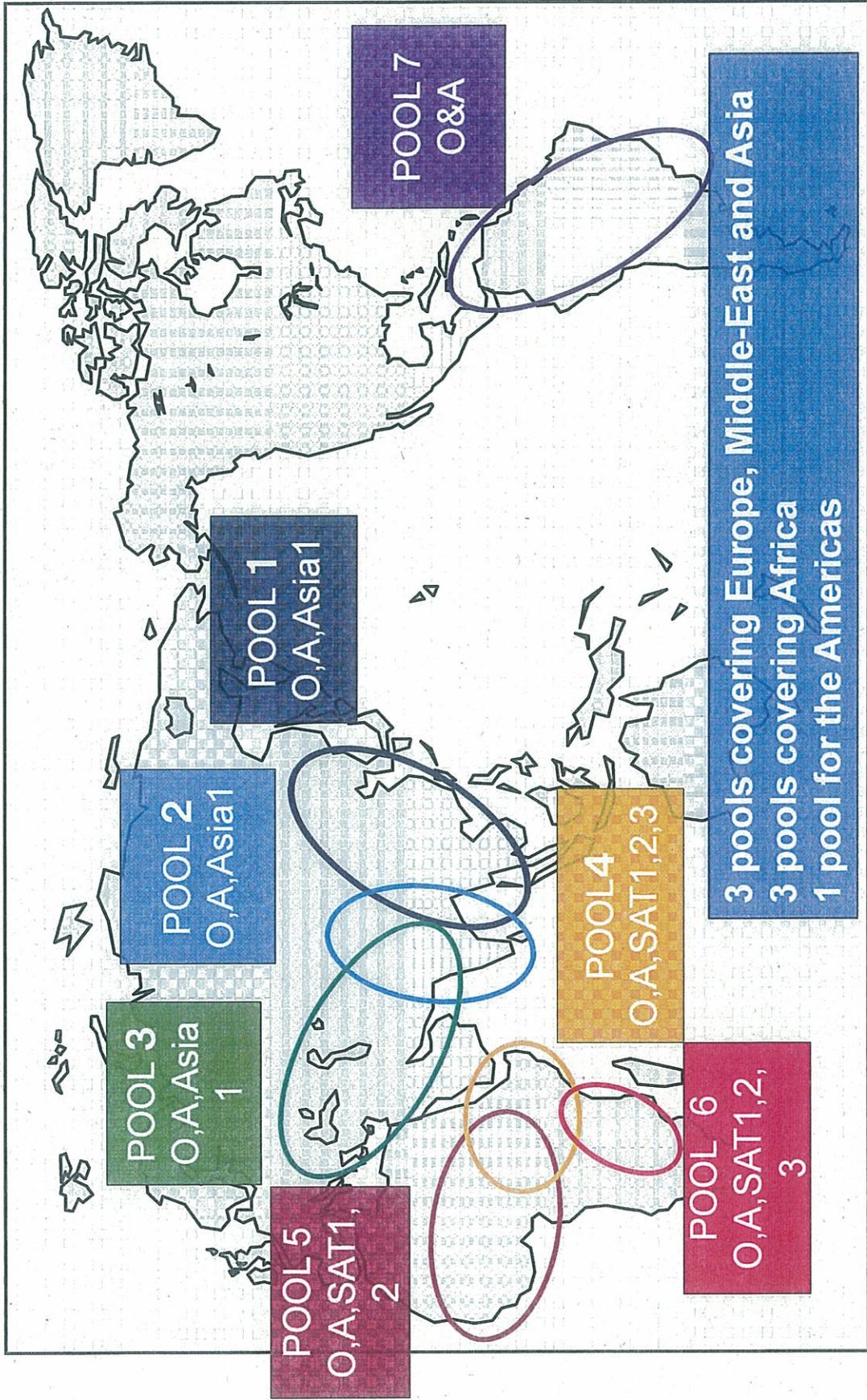
- ～ヨーロッパ(38カ国)～
 アルバニア、ハンガリー、アイスランド、アイスランド、アイスランド、イタリヤ、ラトビア、リトアニア、ルクセンブルク、マルタ、サンマリノ共和国、ギリシヤ
- ～アジア(4カ国)～
 日本、インドネシア、シンガポール、ブルネイ、スウェーデン、セルビア、モンテネグロ、ボスニア・ヘルツェゴビナ、スイス、ウクライナ
- ～オセアニア(4カ国)～
 オーストラリア、ニューカレドニア、ニュージーランド、バヌアツ、～アフリカ(4カ国)～
 スワジランド、マダガスカル、モーリシヤス、レソト王国
- ～南北アメリカ(15カ国)～
 カナダ、ニカラグア、パナマ、チリ、コスタリカ、キューバ、エルサルバドル、ドミニカ共和国、グアテマラ、ハイチ、ガイアナ、メキシコ、ホンジュラス

注1：上記非清浄国には、その一部にOIEが公式認定するワクチン非接種清浄地域／ワクチン接種清浄地域を含む。
 (なお、フィリピンは5つのワクチン非接種清浄地域により、アルゼンチンは、1つのワクチン非接種清浄地域と2つのワクチン接種清浄地域により、全土がカバーされている。)

更新点：タジキスタンでの口蹄疫の発生(2011年11月25日)

※ 出典：OIE(清浄国はOIE公式認定)

Model of related FMDVs Distribution



(OIE/FAO_WRLFMD, :OIE/FAO Global Conf. on FMD, Paraguay, 2009)

